

東京オートのテクニカルセンター

板金塗装でテュフ「プラチナ」

北関東初 次世代自動車にも対応

【宇都宮】中古車や輸入車など幅広く事業を展開する東京オート(中村浩志社長)が運営するテクニカルセンター(海老原譲治工場長、小山市高椅)が、北関東で初めてテュフラインランドジャパン(ジュネル・ペティット社長、横浜市港北区)の板金塗



装工場向け認証プログラムの最高ランクであるテュフプラチナ認証を取得した。写真。板金塗装業界は、先進安全技术を搭載したモデルの普及拡大でエーミング(機能調整)作業が不可欠となるなど、急速に進化する次世代自動車への対応が求められている。同センターは昨年7月、小山市内中心部から現在地に移転オープンしたが、移転の1年以上前から認証取得に向けた準備を進めてきた。設備投資やスタッフの教育など体

制を整えて「輸入車や次世代自動車も含めてトータルで対応できる。先進技術をはじめ幅広い自動車技術に対応できる拠点(中村社長)となった。今後は、地域のハブ拠点として活用してもらう構想もあり、後継者難や人材不足を抱える同業他社とも技術対応など得意分野を生かした連携も図っていききたい考えだ。3月に同センターで行われた認証式で中村社長は、「認証取得は社員が一致団結して取り組んだ結果であり、新た

なスタート地点に立った今、さらに成長していきたい」とあいさつした。テュフラインランドジャパンの有馬一志取締役は、「職人堅気などところがある工場と感じたが、取得に向けた取り組みが素晴らしいかった」などと評価した。

テュフラインランドジャパンは、ドイツに本部を置く第三者検査機関であるテュフラインランドグループの日本法人。板金塗装工場認証は、ドイツ本社で設定された監査項目に、日本市場に適した項目を追加し、監査を行う。プラチナ認証は同認証の最高水準にあたり、欧州の大型乗用車も含めた修理を想定し構築されたもの。認証条件には法令順守やアルミの適切な作業環境など修理技術の品質、水性塗料の採用、工場運営や品質管理体制の構築、スタッフへの継続的なトレーニングなど230を超える項目で評価される。